

## 生保内地域運営体 「嶽の会」設立総会開催

市内7番目の地域運営体となる生保内地域運営体「嶽の会」の設立総会が、1月29日、田沢湖総合開発センターで開催されました。

当日は、生保内地区の37町内会から29人の代表が参加し、設立趣意書、規約、役員、基本方針等を決定しました。

会の名称は、駒ヶ岳の古い呼称から「嶽の会」とし、会長には、佐藤善昭さん（刺巻・明平町内会）が就任し、住民自らが自主的な活動により、地域全体に関わる課題解決や元気な地域づくり活動を進めることにしています。

今後、各町内会等からの事業提案書の提出を受け、事業計画を策定し、生保内地域全体を考えた事業を推進することになります。



## もちっこバイキング 餅料理で交流楽しむ

1月30日、かたくり館（西木町小山田）で「第三回もちっこバイキング」が開かれました。グリーンツーリズム西木研究会（藤井けい子会長）が主催し、約50人が参加しました。

餅つき体験や、餅料理作りを体験し、地元との交流を深めた参加者は、用意した焼き餅、おはぎ、ゆべしなど、約30種類以上のお餅料理、数々の漬け物料理に舌鼓を打ちました。



## J.A秋田おばこが クニマス里帰りを支援

J.A秋田おばこが今月から取り扱う「クニマス応援定期」の一部から、クニマス里帰りプロジェクトへ寄付



していただけることになり、25日、藤村正喜組合長から、門脇市長へ寄付の申し入れ書が手渡されました。「強力なバックアップをいただき、大変ありがたい」と市長が御礼の言葉を述べました。

## 愛媛県東温市と災害時相互応援協定 相互の応援体制について協定

昨年10月に田沢湖芸術村で開催された文化庁「文化芸術創造都市モデル事業」トークセッション「劇場が紡ぐ仙北市・東温市 交流の翼」で、門脇市長と高須賀東温市長がパネラーに入り、今後の両市の交流について意見が交わされました。

その中で、互いが遠距離であるメリットを生かし、災害時の相互応援的な交流の可能性について、両市が実現に向けて検討を行うことを互いに確認し合い、協定の締結に向けて協議を進めた結果、1月11日付けで災害時相互応援協

定を締結しました。いずれかの区域に災害が発生した場合に、被災市の要請に応え、応急対策および災害復旧対策を円滑に遂行するため、相互の応援体制について協定するものです。これを機会に両市の交流を深めていきます。



## 農家体験メニュー 布ぞうり手作り講習会



仙北市農山村体験推進協議会では、農家体験受入農家の体験メニューを豊かにするため、1月20日「布ぞうり手作り講習会」を実施し、20人の受講者が、熱心に布ぞうりを仕上げました。

協議会では、小、中、高校生などの農家体験の受入が可能な農家を募集しています。農家体験を通して、仙北市の自然や農産物などの恵みの豊かさ、ここに暮らす人々の心の温かさを一緒に伝えていきませんか。興味のある方は、ぜひご連絡ください。問合せ 仙北市農山村体験推進協議会事務局 農山村活性化課内